



進路通信

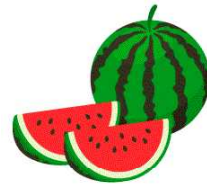
第 4 号 平成28年7月22日発行 大館鳳鳴高等学校 進路指導部



夏休みをどのように過ごすのか！

～ 充実した夏休みにしよう ～

いよいよ夏休みに突入します。全校生徒のみなさんは夏期課外や模擬試験、各種イベントに参加し夏休みを有意義に過ごすための計画を立てていることと思います。計画は立てるだけでなく**実行すること**に意義があります。暑さに負けず夏を乗り切りましょう。



<1年生>

高校生活における初めての夏休みですが、中学生までとは違った夏休みなることと思います。夏期課外や部活動などで学校に登校しつつ普段と同じ**生活リズム**で過ごしてください。(不規則な生活で体調を崩したりしないように注意してください)

<2年生>

受験を意識した夏休みになると思います。オープンキャンパスに参加して、いよいよ自分の志望校を狙い定めていく時期となります。オープンキャンパスのレポートをしっかりと書き、**志望校(志望理由)**を固めていきましょう。また、どのようなプランで合格通知書を手に入れるのか作戦を練っていきましょう。

<3年生>

『夏を制する者は受験を制する』『夏は受験の天王山』

今まさに頑張り時です。あれこれ考えるよりも、ただひたすら受験勉強してください。学力なくして合格はできません。全国にいるライバルを意識し負けないように頑張りましょう。

夏期課外への参加心得

通常の授業より時間は長めですが、集中して取り組むこと。「覚えた」「理解した」はスタート地点。知識を常識に！休み時間にもできることがあるのでは・・・すべては春に桜を咲かせるためです。

アリとキリギリス

皆さんはイソップ童話の「アリとキリギリス」をご存じですよね。物語の解釈には諸説ありますが、一般的な教訓としては、「**将来を考えて、行動し、準備しておく事の大切さ**」を説いたものだと思います。学力は一朝一夕で身に付くものではありません。最低でも3～4ヶ月かかるといわれています。秋や冬以降の成績の向上を考える人は、暑い夏にアリになって頑張りましょう。特に3年生は、受験で結果を出すためには『夏』に頑張りきらなければならないのですよ！



進路指導部からの挑戦状！(Quiz)

全校生徒に進路指導部からクイズを出題します。考えてみてください！

- 問題1) 下記の表の(A)(B)(C)にあてはまる数字を答えよ。
- 問題2) この表からいえることは何か答えよ。



東北大学の工学部はセンター試験7科目900点を450点に圧縮します。個別試験(二次試験)は英語200点、数学300点、理科(2科目)300点の計800点となります。個別試験の配点が高く、二次で逆転が・・・???

東北大学・工学部	センター試験	個別試験	合計点
配点	450	800	1250
配点比率	1.0	1.8	-
合格者平均得点率	81.6 %	(A)	64.3 %
合格者平均得点	367	(B)	803
合格者得点比率	1.0	(C)	-

数字は少数第2位を四捨五入する。

答えは、夏休み明けの進路通信の第5号に掲載します。答えが早く知りたい人は進路指導室前に掲示&答えのプリントを置いておきますのでご覧ください。(いろんな角度から情報を分析することが大事なのです)

アンドリュー先生ありがとうございました

約3年間にわたって本校でALTとしてご指導くださったアンドリュー・メイ先生が母国のオーストラリアに帰られることになりました。在日中は英語だけではなく科学的な面での指導などいろいろとお世話になりました。陽気なアンドリュー先生の授業はとても楽しかったです。



～ thank you very much ! ～

実力テスト について

夏休み明けの8月22日(月)と23日(火)に実力テストが行われます。1・2年生は夏休みの課題にしっかりと取り組んで、その成果を実力テストに出して下さい。定期考査とは違い範囲が広く、より受験に近い問題が出題されます。自由に使える時間の多い夏休み中に弱点を補強し、**真の実力**を身につけましょう。

「学べば学ぶほど、自分が何も知らなかった事に気づく、

気づけば気づくほどまた学びたくなる」
アルベルト・アインシュタイン

特集 進路指導部からのメッセージ

(オレ流落合博満のファンで胴上げも観に行った進路副主任 肥田宗友)

皆さんはいろいろな場面で話しを聞くとお思います。どの程度記憶していますか。少し古い話になりますが、3月に「3年生の合格体験を聞く会」が開かれました。当時1,2年生の生徒は自身の希望で文系、理系の2つに分かれ、3年生の合格者から話を聞きましたね。真剣に聞いている人が多かったように思いますが、覚えていますか。

時間が経っているので、間違いがあるかもしれませんが、簡単に紹介します。現2,3年生は思い出とともに、この会で沸いた感情を行動につなげられているか、生活を改善できているかなどを確認して下さい。1年生も先日先輩から習った手帳の使い方などとあわせて、生活習慣の改善に役立てて下さい。そして、合格を勝ち取って、今度は皆さんが後輩に話しをして下さい。

< 合格者が話した主な内容 >

- ・いいわけをしてはいけない。
- ・スマホを解約したのが良かった。
- ・手元のものを完璧にすべき。
- ・生活リズムを固定できたのが良かった。
- ・受け身ではダメだと思う。
- ・演習量を増やすべき。
- ・先生の頑張りに応えたかった。
- ・すぐ実行するのが大事だと気づいた。
- ・提出が目的でなく、意識をもって自発的に課題に取り組むべき。
- ・東北大学のAO入試は一般受験で合格できる学力がないと受からない。
- ・頑張り続けてもなかなか結果が出なく、苦しかった。結果が出たのは半年後だった。
- ・なぜその学科なのか真剣に将来を考えるべき。
- ・疑問やわからないことはすぐに解決すべき。
- ・優先順位を考えながら、部活にも全力を尽くすべき。
- ・すぐにメモを取る習慣を身につけた。
- ・やりかたは人それぞれ、1年のうちから試行錯誤を重ね、自分のやり方を見つけるべき。
- ・難関大志望だったので、3年の7月から土日赤本、平日は見直しと弱点对策を行った。
- ・難関大志望だったので、二次力養成を重視し、センター対策は12月から行った。
- ・難関大志望だったので、数学の教科書レベルの問題は二年生のうちに完成させた。
- ・モチベーションを保つためにもいける大学ではなく、行きたい大学を目標に努力すべき。
- ・受験勉強は想像以上に本当にしんどかった。つらかった。
- ・受験は自分との対話、頑張っただけ成長を実感できた。
- ・演習は本番のつもり、本番は演習のつもりで取り組んだ。
- ・なぜその学習をするのか、自分なりに意味を見つけるべき。
- ・とにかく早めに意識を変え、行動に移した方が良い。

部活動引退まで勉強をしていなかったと話す生徒が毎年のようにいますが、良い成績を残しているのが鵝呑みにしてはいけません。

さて、2,3年生は思い出せましたか。次回は、教員が話した内容を載せます。

2017 大学入試センター試験まで

1	7	6	日
---	---	---	---

配点比率は1 : 1.8 で、個別試験がセンター試験に比べ2倍近い比率となっており、一見「個別試験重視」「個別試験で挽回可能」と思いがちだが、合格者平均得点のセ試：個別比率は1 : 1.3 となり、実際はセンター試験の比率が実際の配点より相対的に高いことが分かる。よって、個別試験の配点が高いからと言ってセンターを軽視する考えには根拠がなく、個別試験で挽回するのは相当難しい。

状の自分にもっとも必要な取り組みは何か」を具体的に考え、戦略的に受験勉強を進めなければならない。首都圏の中高一貫校に通う生徒は、2年生までで高校で学習する全範囲を終え、3年生はひたすら演習のみである。そういう生徒と互角に戦うには「情報」とそれに基づく「具体的かつ効果的な戦略」が不可欠であるというお話でした。浪人生の担任をつとめ首都圏でも勤務された経験からの氏のお話は、「現役生が今やるべきこと」を考えるうえで示唆に富んだ非常に有益なものでした。

